

10月22日 元プロ野球監督の西村さんによる野球教室



くしまPR大使も務める西村さんは「楽しんで野球をしてくれたらうれしい」と話していました

串間市スポーツ少年団は、本市出身の元プロ野球選手で監督も務めた西村徳文^{のりふみ}さんを招いた野球教室を市総合運動公園野球場で開催しました。串間中学校野球部と市内の野球スポーツ少年団に所属する児童が参加。初めに1塁ベースまでの走塁を指導し、ケガのリスクが少ないベースの踏み方など実践を交えながら伝えました。その後、一人一人の打撃練習を確認し、ムダのないスイングの仕方やタイミングの取り方などをアドバイスしていました。有明スポーツ少年団主将の日高凌平^{りょうへい}くんは「バッティングの体重移動の仕方などを教えてもらえてよかった。今後さらに努力していきたい」と話していました。

10月28日 大東地区自治会が地域連携組織への理解深める

大東地区自治会は、地域連携組織について学ぶ「地域づくり研修会」を大東支所体育館で行いました。市内の地域連携組織である本城地区の「まちづくり協議会『チーム本城』」、都井地区の「都井地区あかり会」が活動状況を紹介。地域の課題を住民主体で解決するため、互助輸送や見守りなどの高齢者支援や防災訓練の実施などを話し、参加した自治会長に対し地域における同組織の必要性を訴えていました。大東地区自治会長の東郷久盛^{ひさもり}さんは「発表を聞いて勉強になった。今後の取り組みの参考にしたい」と話していました。



都井地区あかり会の活動状況を聞く自治会長

11月4日 世界に向けて地球温暖化対策誓う



誓約は2008年に欧州連合（EU）で始まり、国内では今回39番目になります

日本事務局長の杉山範子^{のりこ}・名古屋大学特任准教授は「この誓約で持続可能な地域づくりに向けて弾みをつけてもらえたら」と話していました。

本市は、地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」の目標達成に地域から貢献することを世界に誓う「世界気候エネルギー首長誓約」に県内の自治体で初めて署名しました。同誓約は、2030年の温室効果ガス排出削減を国の目標以上を目指すことなどを誓う取り組み。誓約後2年以内に行動計画を策定し、実施状況を2年ごとに事務局に報告します。署名式は鹿児島県志布志市の志布志湾大黒リゾートホテルで行われ、市長が署名。市長は「今後は洋上風力発電や水素の活用なども検討している。本市のポテンシャルを生かした施策の展開を図っていききたい」

10月12-13日 市内小学5年生児童が登山やクイズなどで交流深める

市内の小学5年生が野外活動などを通じて交流を深める「串間市ふれあい体験」が第2高畑山などで行われました。市内9小学校の約160人が参加。2日目は第2高畑山の頂上を目指し、市民総合体育館をスタート。頂上までの約5キロの道のりを励まし合いながら歩いていました。頂上ではクイズ大会が行われ、串間に関する問題などを協力して解いていました。北方小学校の鶴田康葉^{こうよう}くんは「他の学校の人と仲良くなれて楽しかった」と笑顔で話していました。1日目は市民総合体育館で、避難所で利用する簡易テント・間仕切りの組み立てなどの防災教育などが行われました。



ゴールが目の前に見え笑顔がこぼれる児童ら

10月19日 就学前に交流を深めてお友達を



むつみ認定こども園、りんぼかん保育園、千種保育園、市木保育園が参加。最後はみんなで力を合わせてバルーンをしました

社会福祉法人むつみ会が、4園の年長児26人を対象に「運動遊び交流会」をむつみ認定こども園で実施しました。就学前に友達の輪を広げたりさまざまな感情を体験することを狙いとして5歳児部会が今年初めて企画。園児たちは初めは緊張していましたが自己紹介、チーム対抗玉入れ、かけっこなどで交流を深め、目を輝かせながらチームで協力し合い競技をしていました。千種保育園の谷口寛季^{かんき}くんは「友達を作れて楽しかった。玉入れで勝って旗をもらえてうれしかった」と話していました。

10月20日 いのちの大切さを学ぶ

みやざき動物愛護センターは、大東小学校の3・4年生を対象に「人と動物のつながりを学びいのちについて考えよう」というテーマで授業を行いました。同センターの職員が人形やイラストを使って犬猫の引き取りや譲渡の業務などを紹介した後、聴診器やスピーカーを使って自身や友達の心音を聞き、命を身近に感じていました。その後、動物の心音を聞き、人も動物も同じ命であることに理解を深めていました。4年生の内田琉維^{りゅうい}さんは「人と動物のつながりはすごいと感じた。人も動物も大切に仲良くしていきたい」と話していました。



大きい動物と小さい動物の心音の違いも学びました